

2018春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

No. 25

2018年3月1日

日本鉄道労働組合連合会

J R 九州労組第2回団体交渉

賃金引き上げ・夏季手当について交渉

J R 九州労組は2月21日、第2回団体交渉を行い、賃金引き上げ要求、夏季手当要求について協議した。

交渉で組合は、「賃上げは、もはや企業への社会的要請」としたうえで、通期業績予想を昨年11月公表時から上方修正していることなどを踏まえ、諸労働条件を改善できるだけの経営体力を有しているとの認識を示すとともに、「組合員の努力に応える方策は、ベースアップの実施しかなく、会社に課せられた責務である」と会社に迫った。また、夏季手当についても「過去最高の業績には過去最高の支払月数で応えることが当然である」として満額回答を求めた。

一方会社は、来年度で税制特例措置の適用期限が切れることや減価償却費の増加など、今後会社を取り巻く環境は一層厳しさを増すなどと主張、ベースアップの実施や夏季手当の支払月数について慎重な態度に終始した。

J R 九州労組は、組合員・家族の期待に応えるべく、引き続き、団体交渉を行うこととしている。